

## 経営理念

県民のひとりひとりが芸術・文化に親しみ、うるおいと生きがいに満ちた生活を営むことができるような文化的環境づくりを目指します。

## 経営基本方針

- 1 県と一体となって文化振興施策を推進することにより、県行政を補完し、県民の教育、学術及び文化の振興の一翼を担います。
- 2 県民のニーズを的確に把握しながら、県民が多様で優れた芸術文化に親しむ機会や、参加、創造する機会を提供するとともに、歴史や民俗等に関する調査研究や学習機会の提供、埋蔵文化財の保護、活用、文化団体への活動支援等を通じて、県民が文化をより身近に感じ、また、交流することのできる文化的環境づくりに取り組みます。
- 3 事業団の各施設が持つ機能やノウハウを最大限に発揮し、本県における文化振興の拠点としての役割を果たします。
- 4 事業団を取り巻く経営環境の変化に的確に対応しながら、職員の意識改革や資質向上を図り、役職員一丸となって経営改善を推進し、健全かつ適切な運営を継続的に行っていきます。
- 5 指定管理者の指定を受けた各施設の適切な管理運営を図り、指定管理者としての使命を果たすとともに、サービス向上やコスト削減に主体的に取り組めます。

## 令和3年度事業計画（総括）

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染の防止のため多くの事業が変更等を余儀なくされ、現在においても感染防止の取り組みが求められているものの、令和3年度においては、上記の経営理念・経営基本方針に基づき、各事業所等における各種の事業を展開するとともに、いわて県民計画（2019～2028）の理念を踏まえ、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向け、豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育む取組みを進めます。

特に、県民が日常的に文化芸術に親しみ、楽しみ、そして潤う豊かな社会の実現を目指した事業展開を新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら積極的に進めます。

また、東日本大震災からの復興支援に係る事業を継続して行うほか、若者や後継者育成の活動支援等によるふるさと振興に取り組めます。

各事業所等における主な事業は、次のとおりです。

## 1 県民会館事業

県民会館の自主事業は、多様な県民の要望に応えるため、鑑賞型事業としてNHK みんなのうた ミュージカル「リトル・ゾンビガール」、「宝塚歌劇公演」、「プラハ放送交響楽団」、などの公演を実施し、より多くの県民に舞台芸術などの鑑賞の場を提供する。

また、参画型・育成型事業や震災復興関連事業についても、引き続き実施する。

## 2 埋蔵文化財センター事業

東日本大震災からの復興事業に関連する発掘調査と報告書作成は令和2年度で全て完了したことから、発掘調査事業は、従来どおりの国・県・市町村の公共事業に関わる11遺跡34,943㎡を調査する。室内整理作業では、東日本大震災津波で被災した陸前高田市立博物館からレスキューされた、考古資料の修復業務を新規に進める。

また、普及・広報事業では継続事業として埋蔵文化財展や遺跡報告会等を開催し、文化財保護思想の普及に努めるとともに、宮古市を会場として東日本大震災復興関連調査展を行う。

なお、岩手県教育委員会からの委託事業である柳之御所遺跡発掘調査については、継続事業として実施する。

## 3 博物館事業

展示活動においては、開館40周年記念特別展として「みる！しる！わかる！三陸再発見」を、テーマ展として「化石の水族館」、「個性派役者勢揃い～岩手の操り人形～」、「いわての政治物語－幕末・明治・大正－」、「縄文いわての環状列石」を開催するほか、随時常設展展示替え、トピック展の展示を実施する。

また、教育普及活動として各種講演会や講座、セミナー、観察会、体験教室などのほか、職員を派遣して行う「県博出前講座」や「学習利用」、「教材資料貸出」など学校教育との連携推進に取り組む。

自主事業においては、恒例の「博物館まつり」のほか、ゴールデンウィークに親子で楽しめる「バルーンイベント」「ミニSL」「ふれあい動物園」や、秋には「ヒストリックカー&クラシックカーミーティングin博物館」を開催するとともに、「ミュージアムコンサート」や普段見ることのできない夜の博物館の魅力を知ってもらう「ナイトミュージアム」などを実施する。

このほか、東日本大震災で被災した資料の安定化処理及び抜本修復を、被災機関からの依頼に基づき、継続事業として実施する。

## 4 美術館事業

展示関連の事業としては、所蔵作品による常設展（第1期～第4期）とともに、報道機関との実行委員会方式により「ムーミン展 THE ART AND THE STORY」及び「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」の2つを開催するほか、「Human and Animal 土に吹き込まれた命」、「小さなデザイン 駒形克己展」、「唐武と芸術

写真の時代（仮称）」など合わせて6つの企画展を開催し、国内外の優れた美術作品や岩手県内又は本県ゆかりの作家による作品の鑑賞機会を県民に提供していく。

また、教育普及活動事業として、展示関連の作品解説や講座・ワークショップ、美術普及関連の「オープNSTAジオ」や「アートデオヤコ」、「館長講座」や「学芸員講座」に加え、館員が各学校等の希望に沿って美術をより身近に学ぶための「出前授業」を積極的に展開するなど、県民が美術を楽しむことのできる多様な機会の提供に努める。

このほか、自主事業として、「美術館まつり」、「ナイトミュージアム」、「ファミリータイム」、「ミュージアムコンサート」等のイベント開催などを通じて、美術館の利用促進につなげていく。

## 5 総務部事業

新型コロナウイルス感染症の影響により多くの文化芸術団体等の活動に支障が生じている状況を踏まえ、県内の文化団体等の活動を奨励し、支援するため、引き続き文化振興基金助成事業や県の補助事業である「いわて文化芸術活動支援事業」を引き続き実施する。

芸術文化団体と連携して第74回岩手芸術祭を開催し、文化振興の盛り上げを図る。

文化庁委託事業である「文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）」は、東日本大震災復興支援対応として引き続き実施する。

令和3年12月頃に開所予定の「平泉の世界遺産ガイドセンター（仮称）」の学芸業務の円滑な実施に向けた事業企画や体制を整備する。

このほか、事業団の運営・経営の安定化に向けて、収支均衡の財務運営、効率的かつ効果的な事業執行に努めるとともに、職員の資質向上、働き方改革に対応した組織体制の確立、事業団が実施する事業の周知やイメージアップのための広報の実施に取り組む。